

岡山市文化芸術振興ビジョン 改訂版(素案)

【平成29年度～平成33年度版】

岡 山 市

(平成28年11月)

目 次

【本編】

I	背景	1
1	文化・文化芸術とは	
2	岡山市の文化振興の取組について	
3	「文化芸術振興基本法」の制定と基本方針	
4	「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の制定	
II	岡山市文化芸術振興ビジョン改訂版について	3
	[図] 文化芸術がもたらす効果	
III	岡山市の現状と課題	4
1	恵まれた文化資源 [もの]	4
	(1) 歴史・文化ゾーン	
	(2) 西川緑道公園	
	(3) 歴史文化資源・地域資源	
2	多彩な人材と芸術文化団体 [ひと]	5
	(1) 文化芸術の担い手	
	(2) 市民意識調査の状況	
3	歴史・文化の薫るまちをめざして [これから]	7
	(1) 市民からの期待	
	(2) 芸術文化団体からの期待	
	(3) 歴史・文化による都市の魅力向上	
IV	岡山市の文化芸術振興の基本的な方針とテーマ	10
	[図] 基本方針－テーマ－現状と課題	
1	テーマ1 【したしむ】市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市	12
	(1) 市民の鑑賞機会の確保・促進	
	(2) 市民参加の促進	
2	テーマ2 【はぐくむ】文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成	14
	(1) 担い手の育成	
	(2) 子ども・青少年の支援	
	(3) 芸術文化団体間の連携・支援	

3	テーマ3【ささえる】文化芸術の活動環境の向上	16
	(1) 活動環境の向上	
	(2) 様々な支援	
	[図] 文化芸術を担う人材の循環	
4	テーマ4【つなぐ】文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市	18
	(1) 交流促進	
	(2) 魅力向上	
5	テーマ5【つくる】新たな魅力を創造していく岡山市	20
	(1) 地域で文化芸術を創る	
	(2) 新しい魅力づくり	
V	推進体制・進行管理	22
	1 行政機関<岡山市役所内の関係課>	
	2 教育機関・各学校や大学等	
	3 外郭団体	
	[図] 推進体制	23
	[表] テーマ別 主な事業一覧	24
	[表] 効果指標	25

【本 編】

I 背 景

1 文化・文化芸術とは

文化とは、広義に定義づけると衣食住や生活様式など「人の生活すべてにまつわるもの」に広がっていきます。文化は人の心を豊かにするとともに、人と人とをつなぎ、相互に理解し尊重し合う土壌を育て、心豊かな社会を形成するものです。

また、地域の文化は、歴史や風土とそこに暮らす人々の営みから育まれてきたものであり、その地域の個性を表すものです。地域文化の振興は、人々に地域への愛着を深めさせ、地域を輝かせ、活力とにぎわいをもたらすといわれています。

さらに、表現者の創造活動で制作された作品は、鑑賞者に様々な感情を抱かせ、時に想像力や創造力を刺激します。作品を介してコミュニケーションが活発になれば、多様な価値観を共有したり、新しい人のつながりが生まれたりすることがあります。

こうしたことから、文化芸術の振興が観光振興・地域振興に寄与するとともに、文化芸術は、子どもや若者、高齢者、障害者等に社会参加の機会をひらく「社会包摂機能」を有すると考えられるようになってきました。

「岡山市文化芸術振興ビジョン」においては、平成 13 年に制定されたわが国の文化芸術振興基本法に例示された文化芸術分野を基本とし、史跡や民俗芸能、習俗等の歴史文化資源や、魅力ある街並み・景観等を対象としています。

《参考》文化芸術振興基本法に例示された対象分野

- ・芸術（文学，音楽，美術，写真，演劇，舞踊等）
- ・メディア芸術（映画，漫画，アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術）
- ・伝統芸能（雅楽，能楽，文楽，歌舞伎等）
- ・芸能（講談，落語，浪曲，漫談，漫才，歌唱等）
- ・生活文化（茶道，華道，書道等）、国民娯楽（囲碁，将棋等）
- ・文化財、出版物等

2 岡山市の文化振興の取組について

本市では、昭和 59 年 3 月に「文化的な視点にたった都市づくり構想」を策定し、平成 8 年 2 月にはその成果を「文化の薫るまちづくりに向けて～これまでの軌跡～」として報告書にまとめるなど、文化的視点にたったまちづくりに取り組んできました。

平成 24 年 3 月に策定した「岡山市文化芸術振興ビジョン」（以下、「振興ビジョン」といいます。）では、「岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、生き生きと暮らせる豊かな文化都市をめざす」ことを目的とし、テーマに「したしむ」、「はぐくむ」、「ささえる」、「つなぐ」と四つの柱を設定し、市民や行政、民間、NPO、財団、各文化施設などが一体となって文化振興を図ってきました。

平成 27 年度には、岡山市第六次総合計画長期構想（期間：平成 28 年度～平成 37

年度)が策定され、「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」を基本目標とし、「中四国をリードし、活力と創造性あふれる『経済・交流都市』を将来都市像に、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」が基本方向の一つとなっています。

また、岡山市民会館と岡山市立市民文化ホールの老朽化により、両施設の機能を統合した新しい文化芸術施設を、千日前地区市街地再開発事業予定地に整備することが決定しました。

3 「文化芸術振興基本法」の制定と基本方針

1948年に国連総会で採択された世界人権宣言で、「すべて人は、自由に社会の文化生活に参加し、芸術を鑑賞し、及び科学の進歩とその恩恵とにあずかる権利を有する。」(第27条第1項)とされました。

議員立法により成立した「文化芸術振興基本法」(平成13年施行)では、「文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利であること」(第2条第3項)が、改めて確認されました。同法は、文化芸術の振興について基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにし、施策の基本となる事項を定め、文化芸術に関する活動を行う者の自主的な活動の促進を旨として施策の総合的な推進を図ることにより、「心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与する」ことを目的としています(第1条)。また、「文化芸術活動を行う者の自主性が十分に尊重されなければならない」(第2条)ともうたわれています。

この法律では、政府は文化芸術の振興に関する基本的な方針(基本方針)を定めることとされており(第7条)、平成27年5月に第4次基本方針が示されています。本方針では、地域における文化芸術振興について、鑑賞機会の充実や創造活動などの支援、地域住民の芸術文化活動への参加促進、民間の非営利活動や文化ボランティアなど地域における多様な文化芸術活動の担い手の育成を図ることとされています。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、文化芸術の分野においても、全国で様々な文化活動を推進し、海外に向けて日本や地域の文化の魅力発信する文化プログラムを推進する方針も文化庁より示されています。

4 「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の制定

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(平成24年施行)では、劇場や音楽堂等は、文化芸術を継承、創造、発信する場であるとともに、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点であり、活力ある社会を構築するための大きな役割を担うとされました。

II 岡山市文化芸術振興ビジョン改訂版について

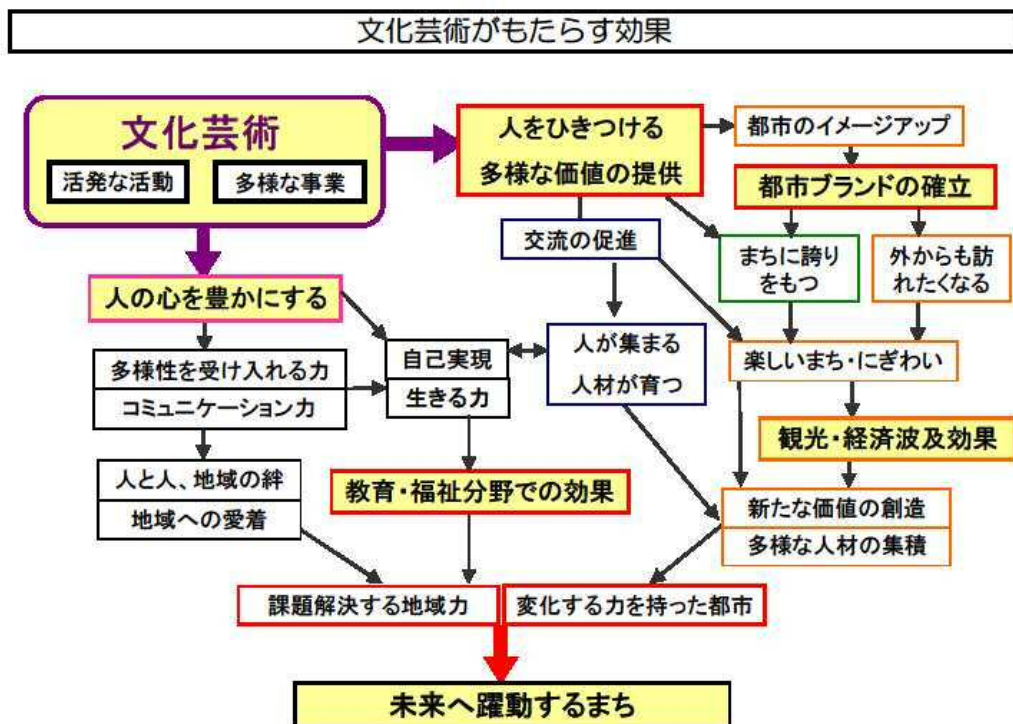
平成 24 年 3 月に策定した振興ビジョンは、当面の対象期間を平成 28 年度までと
していました。引き続き本市の文化振興を推進するため、次期振興ビジョン(対象期
間平成 29 年度～平成 33 年度)について、目的や基本的な考え方は維持しながら、本
市や国の動向を踏まえた改訂を行います。

岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる
豊かな文化都市をめざす。

(基本的な考え方)

文化芸術は、人の心を豊かにし、人をひきつけるとともに、下図のように、人
と地域、社会に様々な効果をもたらします。

また、その推進にあたっては、市民が主役という理念のもと、各分野の文化芸
術の表現者や文化活動を行う人、行政と企業や大学等がそれぞれの得意分野を活
かして連携・協力を図り取り組んでいくことが必要と考えています。



Ⅲ 岡山市の現状と課題

1 恵まれた文化資源 [もの]

(1) 歴史・文化ゾーン

本市には、岡山駅からほど近いエリアに岡山城・岡山後楽園という歴史のシンボルが存在し、その周辺には、美術館、博物館、ホールなどの市・県・民間の文化施設が集中し旭川の風景と風情あるまち並みとともに「歴史・文化ゾーン」を形成しています。

各文化施設は、それぞれの個性を活かした展示やイベントを行うとともに、近年では「岡山城」と「岡山後楽園」が連携して開催する「烏城桃源郷」と「幻想庭園」や、岡山城や岡山後楽園、博物館、美術館の共通チケットの設定、オリエント美術館と岡山県立美術館での「おとなり美術館」など連携を進めつつあります。2016年には、このエリアを会場に現代アートの祭典「岡山芸術交流 2016」を開催しました。今後も近隣の文化施設や商店街・飲食店などが連携を強め、市民や観光客にエリアの魅力を伝え、にぎわいを創出することが求められています。

(2) 西川緑道公園

西川緑道公園は、市中心部を南北に流れる西川用水の兩岸を緑地公園としたもので、約 100 種類の樹木約 3 万 8 千本が植えられ、広場や水上テラスでは様々なイベントも開催されるなど、都心のオアシスとして親しまれています。昭和 49 年度から平成 22 年度まで「西川緑道まつり」が毎年開催され、平成 22 年度からは「花・緑ハーモニーフェスタ in 西川」が始まり、西川緑道公園の魅力を広く来訪者に PR する目的で、公募による音楽やダンスのステージ、アートの展示など市民参加による文化芸術の発表の場にもなっており、文化芸術にたずさわる人々と地域住民、来訪者の交流の輪が広がる場として定着し、今後更なる活用が期待されています。

(3) 歴史文化資源・地域資源

岡山市内の国指定史跡は、岡山城跡、高松城跡（秀吉の水攻築提跡）、大廻小廻山城跡をはじめ 18 か所あります。

また、造山古墳や吉備津神社、吉備津彦神社、高松城跡、足守陣屋町、干拓・新田開発などの歴史文化遺産、平成 28 年 3 月に国の重要無形民俗文化財に指定された西大寺会陽（はだか祭り）をはじめとする伝統行事や郷土芸能、烏城彫り、烏城紬、撫川うちわなどの伝統工芸に加え、それぞれの地域に根差した生活文化や食文化などがあり、地域の人々により大切に守られ、世代を越えて継承されています。

こうした各地域の貴重な歴史文化資源は、認知度を高め、地域を越えて市民で共有することにより、さらに魅力を増します。そのためには、専門家による研究や保存、継承とともに、幅広い市民が本市の宝として価値を知り、地域の歴史に思いをはせる

ことができるよう、親しみやすく紹介することが求められています。

《課題》

- ◇岡山城と岡山後楽園やその周辺的美術館・博物館・ホール等の連携による「歴史・文化ゾーン」の魅力向上やにぎわいの創出が必要。
- ◇西川緑道公園を活かした事業で人の交流をさらに高めていく。
- ◇各地域の歴史文化資源（史跡、名勝、建造物、工芸品、民俗文化財、伝統行事、郷土芸能、伝統工芸、偉人、食文化等）の保存・継承とともに活用・情報発信が必要。

2 多彩な人材と芸術文化団体 [ひと]

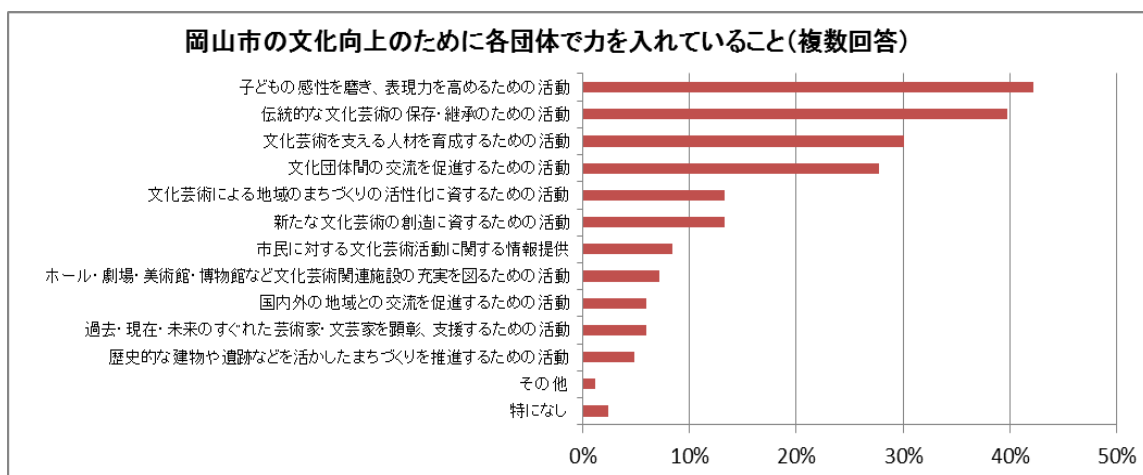
(1) 文化芸術の担い手

ア <芸術家の数>

平成 22 年度国勢調査によると、芸術家（著述家、彫刻家、画家、工芸美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、音楽家、舞踊家、俳優、演出家、演芸家の合計）は、東京都内やその周辺に集中する傾向があります。本市の全就業者にしめる芸術家の割合は 0.53% で、全国の 0.63% と比べても高くはありません。

イ <芸術文化団体の状況>

本市には、芸術文化団体登録制度があり、音楽、舞踊、演劇、美術、伝統芸能、美術、文芸、茶道、華道など、多岐にわたるジャンルから 217 団体が登録しています（平成 28 年 9 月末現在）。



各芸術文化団体にアンケートを実施し、岡山市の文化向上のために各団体で力を入れていることを尋ねたところ、子どもを対象とした活動や伝統文化の継承、人材育成などを意識した活動が上位にありました。

ウ <公民館での活動>

公民館は、地域の特性を踏まえた学びや活動の場であり、主催講座やクラブ講座の活動成果を披露し、文化芸術に身近に触れる機会を提供する文化祭を実施しています。文化祭は公民館ごとに行われており、平成 27 年度は 1,254 団体が参加しています。また、クラブ講座には平成 27 年度に 5 万人以上が参加するなど、文化活動の拠点となっています。

エ <ESD の活動>

本市では、公民館や学校などを拠点に、地域コミュニティに根差した ESD(持続可能な開発のための教育)の活動が全市的に行われ、教育研究機関、NPO、企業、行政などがゆるやかなネットワークを形成しています。ESD の活動には、伝統文化の継承や文化財の保全活用など文化芸術分野も含まれることから、本市の文化芸術振興を図っていくうえで、ESD の取り組み土壌があることは、本市の強みといえます。

オ <様々な施設での文化活動>

市内の各ふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウスなどでも、様々な講座や発表が行われています。

また、図書館でも、読書だけでなく本や文学・文芸に関する市民活動が行われており、オリエント美術館や岡山シティミュージアムも鑑賞だけでなく、講演会や講座、ワークショップが行われています。これらの各講座については、引き続き実施していくとともに、幅広い世代の参加が得られるような発信が必要となります。

カ <各文化事業での市民参加>

「岡山市芸術祭」は、芸術文化団体やグループの参加による総合的な文化祭で、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、美術、文芸、華道など、多彩なジャンルの事業が展開され、日頃の成果を発表し、気軽に芸術文化にふれることができる機会として市民に親しまれています。「おかやま国際音楽祭」では、地域資源を活用したコンサートや街中での野外コンサート、市民が出演する街角ステージなどで音楽に親しむ機会を提供しています。両事業とも、市民が主体的に企画・運営する事業を支援し、市民と創り上げる文化事業として実施してきました。

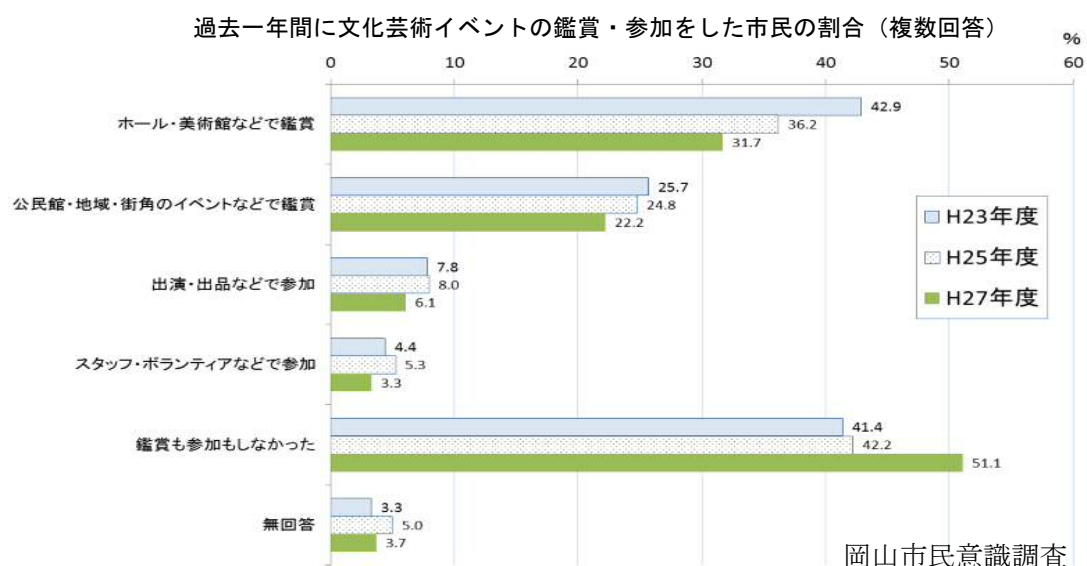
また、「うらじゃ踊り」は、若者だけでなく子どもから高齢者まで幅広い年代の人が参加して、年々、盛り上がりを増しています。踊り連としての参加だけでなく、裏方スタッフとしてパレード総おどりなどのサポートや会場設営、警備など、学生を含む多くのボランティアが支えています。

(2) 市民意識調査の状況

二年毎に実施している岡山市民意識調査の結果では、「過去一年間に文化芸術イベン

トの鑑賞や参加をした市民の割合」は、調査開始の平成 23 年度から減少傾向にあります。文化芸術の振興には、創られた芸術作品や公演を鑑賞する人が必要です。鑑賞や参加は、文化活動を支える役割を担っており、文化芸術を日頃の生活の中で楽しむ人を増やしていくことが重要となります。

そのためには、子どもの頃から文化芸術の鑑賞をしたり、体験したりする機会を充実させる必要があります。



《課題》

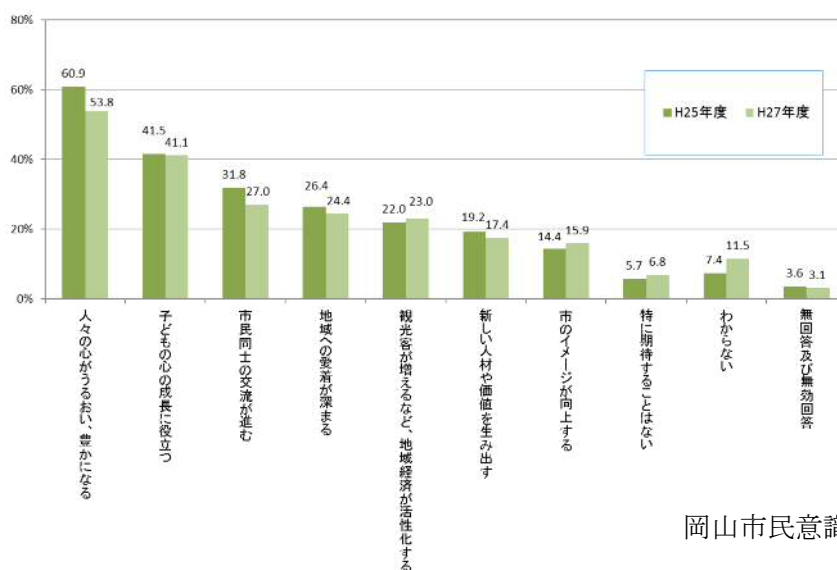
- ◇文化芸術を鑑賞・参加する人が減少傾向にあるため、子どもの頃から文化芸術を楽しみ、体験する機会を設け、文化に親しむ人を増やしていく必要がある。
- ◇公民館や ESD の活動が活発な中で、幅広いジャンルで、地域で文化の担い手が育ち、活躍するまちを目指す必要がある。

3 歴史・文化の薫るまちをめざして [これから]

(1) 市民からの期待

市民意識調査では、「市民にとって文化芸術が身近になることによりどんな効果を期待するか」という質問に対する回答で最も多いのは「人々の心がうるおい、豊かになる」と答えた人で平成 27 年度 53.8%、次いで「子どもの心の成長に役立つ」41.1%となっています。

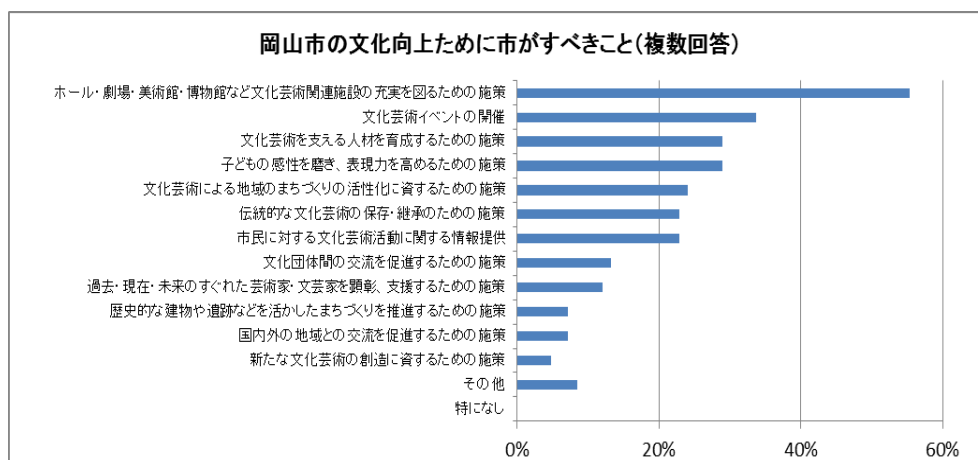
文化芸術が身近になることにより期待する効果（複数回答）



岡山市民意識調査

(2) 芸術文化団体からの期待

芸術文化団体へのアンケートでは、文化振興のために岡山市のすべきこととして、文化芸術関連施設の充実を図る施策を求める割合が高くなっています。次いで、文化芸術イベントの開催、人材育成や子どものための施策が上位にあります。



(3) 歴史・文化による都市の魅力向上

本市の歴史や文化を楽しみに、人が訪れるようになると、観光への波及効果は一層多くなります。さらに、都市イメージ・知名度が向上することで、地域への誇りや愛着が強まり、岡山に住み続ける人や、岡山に移住してくる人が増えます。

また、大学が市内に多く、県外から多くの学生が来ている状況を考えると、岡山で学生時代を過ごした若者が、引き続き岡山に就職し、住み続けたくなるまちにしていくなことが、今後予想される人口減少への対応として、地方創生の面からも重要になります。

ア <新しい文化芸術施設の整備>

新しい文化芸術施設は、これまで行われてきた事業や市民活動を支えるとともに、新たに地元と一体となってにぎわいの創出に繋がるような事業を展開する施設を目指しています。

また、岡山が誇れる新たな価値を創造し、発信することができる創造支援や交流機能を備え、いつでも誰でも気軽に立ち寄り、憩うことができる施設とすることを整備方針としています。

イ <文化芸術による観光振興・地域振興>

平成 28 年度には、「文化芸術がつなぐ人とまち」を目指して、「おかやま国際音楽祭」と「岡山芸術交流 2016」、「秋のおかやま桃太郎まつり」などの複数の事業を 10 月に集中して開催し、多彩な文化芸術を岡山の歴史や食など多面的に提供することで、市外や海外からの観光客の増加やにぎわいを創出することを目指しました。

引き続き、文化芸術の「人をつなぐ力」で交流を促進し、観光振興や地域振興に効果が発揮できるような取組に力を入れていく必要があります。

ウ <岡山フィルハーモニック管弦楽団>

岡山シンフォニーホールを活動拠点とする岡山フィルハーモニック管弦楽団は、平成 4 年に県、市、財界の協力で設立された県内唯一のプロの楽団として、定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や、地元演奏団体との共演など、全県を対象に、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担い、数多くの演奏活動を実施しています。

今後、子どもたちへの音楽鑑賞機会を提供し、市民に親しまれる楽団として積極的に活動するとともに、楽団独自の音楽スタイルを確立することにより、本市の都市ブランドの向上に寄与する楽団を目指していく必要があります。

エ <坪田譲治文学賞>

昭和 60 年に始まった「坪田譲治文学賞」があります。刊行された文学作品の中から「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」を選び表彰することで、文壇に坪田譲治氏の名をとどめ、名誉市民である氏の業績を顕彰するとともに、氏が生まれ育った岡山を発信しています。歴代の受賞者の中には、のちに芥川賞、直木賞を受賞することもあり、文学界・出版界において注目される賞となっています。

オ <新しい魅力の創出>

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする文化プログラムの実施においては、海外を視野に、歴史文化資源や文化施設を活用した岡山の魅力づ

くりと、地域独自の文化芸術を創造発信していくことが必要となります。

《課題》

- ◇新しい文化芸術施設が、地域のにぎわいと文化芸術活動の拠点となるように整備する。
- ◇交通の結節点という利便性を活かした人・もの・情報の交流促進と、文化芸術イベントの連携により、都市の魅力を高め、観光振興・地域振興への相乗効果を発揮させる。
- ◇岡山フィルハーモニック管弦楽団や坪田譲治文学賞を岡山の都市ブランドの向上につなげる。
- ◇東京オリンピック・パラリンピック競技大会も視野に、岡山市の魅力づくりと、地域独自の文化の創造発信が必要。

IV 岡山市の文化芸術振興の基本的な方針とテーマ

岡山市第六次総合計画長期構想の基本方向の一つである、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」では、岡山市固有の歴史・伝統・文化をまちづくりに活用するとともに、市民一人ひとりが学び親しむことにより、様々な交流を通じて新たな文化を創造し、岡山市らしさを市民が誇りを持って国内外に積極的に発信する都市を目指しています。

この長期構想と、本市の文化芸術振興の現状と課題を踏まえて、改訂版では、これまでテーマとしてきた「したしむ」「はぐくむ」「ささえる」「つなぐ」4つのテーマに、新たに「つくる」を加えました。

5つのテーマは、重なる部分も多いことから、施策の基本的な方針と主な事業については、その中心となる方針の項目に記載し、一覧表（P.24）で関連テーマを表示しました。

基本方針

岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、
いきいきと暮らせる豊かな文化都市をめざす

テーマ1【したしむ】

市民が気軽に文化芸術に
親しめる岡山市

テーマ2【はぐくむ】

文化芸術を担う創造力豊
かな人材の育成

テーマ4【つなぐ】

文化芸術を次世代へつなぎ、
人と人が交流する岡山市

テーマ3【ささえる】

文化芸術の活動環境の向上

テーマ5【つくる】

新たな魅力を創造していく
岡山市

岡山市の現状と課題

恵まれた文化資源の 保存・活用

【もの】

◇岡山城・岡山後楽園とその
周辺の文化施設の連携による
「歴史・文化ゾーン」の魅力向
上や賑わいの創出が必要。

◇各地域の歴史文化資源の保
存・継承とともに活用・情報発
信が必要。

地域の文化芸術 の担い手を育成

【ひと】

◇文化芸術を鑑賞・参加する
人が減少傾向にあるため、子
どもの頃から文化に親しむ人
を増やしていく必要がある。

◇地域で文化の担い手が育ち、
活躍するまちを目指す必要が
ある。

文化芸術をまち づくりに活かす

【これから】

◇新しい文化芸術施設が地
域のにぎわいと文化芸術活
動の拠点となるよう整備する。

◇交通の結節点という利便
性を活かし、都市の魅力を高
め、観光振興・地域振興への
相乗効果を発揮させる。

1 テーマ1【したしむ】

市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市

【期待される効果】

- ・ 市民が心のよりどころを得る、自己実現につながる
- ・ 感性が豊かになり、コミュニケーション力が養われる

【方向性】

既存の文化資源、多彩な人材を活かし、連携や役割分担により、市民一人ひとりが、日常生活の中で文化を感じ、ゆとりや潤いをもてるように、鑑賞や参加などの機会を充実し、気軽に文化芸術を楽しめる環境をつくる。

《施策と主な事業》

(1) 市民の鑑賞機会の確保・促進

- 鑑賞機会の充実には、多様なジャンルの事業が市内で実施されることが重要になるため、「おかやま国際音楽祭」など市主催の事業に加え、芸術文化団体やNPO、民間事業者などがそれぞれの得意分野を活かしながら、連携と役割分担によりバラエティに富んだ文化事業が展開されていくことを目指します。
- 文化に親しむきっかけづくりとなるように、街角などで気軽に鑑賞できる事業を実施するとともに、文化施設での魅力的な展示や公演、地域にある身近な施設での気軽に楽しめるイベントや講座の充実を図ります。
- 障害のある方や高齢者の方、子育て世代なども含め、あらゆる人に文化芸術を楽しむ機会を提供していきます。

(2) 市民参加の促進

- 市民が出演する街角ステージや、作品募集への出品など参加の機会を設けます。
- イベントへの参加や事業の企画運営、ボランティア活動など、積極的に文化活動に関わる市民の増加を目指します。
- 市が主催する文化事業や祭り、作品募集、県、NPO や民間などの実施する各事業や地域の祭りなど、参加機会の情報を市民が入手しやすいように、市内のイベントや文化団体の活動などの情報収集と発信に努めていきます。

主な事業

- ・おかやま国際音楽祭や岡山市芸術祭の開催〔文化振興課、(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団によるコンサート〔文化振興課、(公財)岡山シンフォニーホール〕
- ・市民の童話賞、市民の文芸、市民美術展などの作品募集〔文化振興課、(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- ・西川パフォーマー事業〔庭園都市推進課〕
- ・障害者の芸術・文化活動の充実〔障害福祉課〕
- ・魅力的な展示や公演、気軽に楽しめる展示・公演〔岡山シティミュージアム、オリエント美術館、(公財)岡山シンフォニーホールなどの自主事業〕
- ・講座・クラブ・発表会、ワークショップなどの実施〔公民館、ふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウス、岡山シティミュージアム、オリエント美術館等〕

2 テーマ2【はぐくむ】

文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成

【期待される効果】

- ・文化芸術に関わる人材が増えることで、様々なジャンルの文化活動が行われることになり、多様性と発想の豊かさを持った市民が増える

【方向性】

「表現する人」、企画やスタッフとして「参加する人」、「支援する人」など、文化芸術のあらゆる担い手を育成する。子ども・青少年の育成に重点的に取り組む。

《施策と主な事業》

(1) 担い手の育成

- 「おかやま国際音楽祭」や「岡山市芸術祭」、「西川パフォーマー事業」などの事業で、市民が出演する機会を設けるとともに、市民が企画運営・実施する事業を支援し、企画やマネジメントができる人、イベントに伴う事務、当日の受付や会場案内などで活躍する人材が増えることを目指します。
- 自身のスキルを活かしてスタッフ、ボランティアとして参加する人を増やすために、美術館やホールなどの文化芸術施設で、ボランティアが活躍する場を設けます。
- 新しい文化芸術施設での事業展開を視野に、講座やワークショップなどを通じて様々な文化芸術分野のスキルが高まるように、人材育成に取り組みます。
- 障害のある方の作品や演奏などは、近年その独創性などが注目されており、「岡山市芸術祭」などの文化芸術事業を通じて、作品発表の場を提供していきます。

(2) 子ども・青少年の支援

- オリエント美術館や岡山シティミュージアムでの学校団体受入促進や、岡山シンフォニーホールなどでの鑑賞など、文化芸術施設で子どもたちが実物・実演に触れる機会の充実と学校利用の促進を図ります。
- 昭和40年に全国初の公立青少年オーケストラとして設立された岡山市ジュニアオーケストラや、声楽を基礎から学ぶジュニア合唱教室の運営を通じて、音楽による情操豊かな青少年の育成を図るとともに芸術文化の新たな担い手を育て市民文化の向上を目指します。

○学校にアーティストが出向いて実演や指導を行うアウトリーチ活動や、子どもたちが日本の伝統文化を気軽に体験し、実演に触れる機会を提供します。

(3) 芸術文化団体間の連携・支援

○芸術文化団体は、ジャンルもメンバー構成も多様で、指導者を含む多彩な人材を擁しています。地域の文化芸術の重要な担い手となるため、各得意分野や人材を活かして補完・協力関係が築かれ、ジャンルを越えて新たな作品が創出されることを目指し、芸術文化団体間の交流を図ります。

○スポーツ・文化・生涯学習ポータルサイト「LIFE おかやま」を活用して芸術文化団体の事業や活動を紹介することで、参加募集や人材情報の発信を支援します。

主な事業

- ・市民学芸員、美術館ボランティア、岡山シンフォニーホールサポーター活動〔岡山シティミュージアム、オリエント美術館、(公財)岡山シンフォニーホール〕
- ・学校団体鑑賞〔岡山シティミュージアム、オリエント美術館等〕
- ・小中学校音楽鑑賞教室〔(公財)岡山シンフォニーホール〕
- ・こころの劇場(鑑賞事業)〔教育・指導課〕
- ・岡山市ジュニアオーケストラ、岡山市ジュニア合唱教室の運営〔地域子育て支援課、(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- ・チルドレン・ミート・アート・プログラム(学校アウトリーチ・文化体験事業)の実施〔文化振興課、(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- ・ダンス・インキュベーションの実施〔文化振興課、(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団による学校公演、アウトリーチの実施〔(公財)岡山シンフォニーホール〕
- ・郷土芸能団体育成補助金〔観光コンベンション推進課〕
- ・岡山市芸術祭などの文化事業を通じた芸術文化団体の交流促進〔文化振興課〕

3 テーマ3【ささえる】

文化芸術の活動環境の向上

【期待される効果】

- ・ 文化活動を支える施設・資金・人・情報などの仕組みを構築することで、文化の担い手のさらなる活躍が期待される

【方向性】

助成金・寄付・チケットの購入や人的支援、広報連携やチラシの配置協力など、市民・企業・財団・行政などが、それぞれ文化芸術活動を支える。

《施策と主な事業》

(1) 活動環境の向上

- 市民の文化活動を支えている市有施設には、岡山シンフォニーホールや岡山市民会館、岡山市立市民文化ホール、公民館、ふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウスなどがあり、引き続き利用促進を図ります。
- 市や県、民間などの文化施設等について情報を集約し、利用種別や座席数、規模別などにまとめて分かりやすく情報提供していきます。
- 岡山市民会館と岡山市立市民文化ホールについては、平成 34 年度開館予定の新しい文化芸術施設にその役割を移します。新施設は、「魅せる」「集う」「つくる」機能を持った施設として、市民の文化活動を支える創造支援エリアや交流促進エリアを持ち、市民の文化芸術活動の拠点となることを目指します。

(2) 様々な支援

- 本市の補助金・助成金の活用促進を図るとともに、国や民間企業や財団など全国的に応募できる助成金制度などの情報を収集し、提供していきます。
- 芸術文化団体などが、助成金の申請などの諸手続きや企画・運営などについての相談等、専門的アドバイスを受けられるように、人材確保や育成、及びコーディネート機能を担う中間支援組織のあり方について、NPO や大学などと連携して研究をすすめます。

主な事業

- ・岡山シンフォニーホール、岡山市民会館などの施設利用の促進〔文化振興課等〕
- ・新しい文化芸術施設の整備〔文化振興課〕
- ・区づくり推進事業補助金の活用促進〔各区総務・地域振興課、市民協働企画総務課〕
- ・岡山 ESD プロジェクト推進による文化芸術活動の支援〔ESD 推進課〕
- ・各文化施設や助成金募集などの情報の集約と、スポーツ・文化・生涯学習サイト「LIFE おかやま」での提供〔文化振興課・生涯学習課〕

4 テーマ4【つなぐ】

文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市

【期待される効果】

- ・ 市民が郷土への誇りと愛着を感じ、郷土の文化を次世代に引き継ぐ
- ・ 地域の絆が深まることで、地域の課題解決力が向上する

【方向性】

文化芸術それ自体の価値だけでなく、人と人、人と団体、団体と団体をつなぎ、輪を広げ交流促進し、本市の魅力を高めていく。

《施策と主な事業》

(1) 交流促進

- 伝統文化を次世代に引き継いでいくとともに、世代間の交流を促進し、地域のつながりを深めるために、地域ゆかりの先人や、地元の名所、民俗芸能や習俗、食文化などの身近な歴史文化資源を市民が共有し、地域の魅力として発信する取組を支援していきます。
- 国際友好交流都市との市民交流や文化交流、文化体験事業などを実施し、文化芸術を通じた国際交流を推進します。
- 岡山の歴史や文化とつながりの深い史跡や有形・無形文化財など多くの文化財を保存・整備し、公開、活用することで次世代に伝えていきます。

(2) 魅力向上

- 岡山城周辺の歴史・文化ゾーンの各施設の連携や歴史案内看板の設置、文化イベントの一体的な開催など、一層の魅力向上を図り、観光振興・地域振興を促進します。
- 岡山城下で和風の伝統的建造物と大正レトロな建造物が混在し、独特な雰囲気醸し出す出石町の街並みや、陣屋町の歴史を忍ばせる足守、庭瀬・撫川の街並み、西大寺観音院周辺の門前町の面影を残す街並みなどの歴史・文化的景観を、美しい岡山固有の景観として守り、育てていきます。
- 岡山のことを知る機会、学ぶ機会の充実を図るとともに、岡山シティミュージアムでは、貴重な歴史・文化資料の寄附を受け入れて研究や展示を行うとともに、デジタルアーカイブや映像制作などを通じて、現在、岡山市内で行われている伝統・文化などを記録し、後世へ残していきます。

主な事業

- ・邦楽や地域資源を活用したコンサートなどの開催〔文化振興課〕
- ・花・緑ハーモニーフェスタ in 西川の開催〔庭園都市推進課〕
- ・郷土民踊普及事業〔観光コンベンション推進課〕
- ・「うらじゃ」や伝統芸能ステージ（おかやま桃太郎まつり）、おかやま城下町物語の開催〔観光コンベンション推進課〕
- ・日本文化体験交流会や異文化体験交流会の開催、国際友好交流都市などとの文化交流の推進〔国際課〕
- ・史跡をはじめとする文化財の保存や整備、公開、活用〔教育・文化財課〕
- ・歴史案内看板の設置〔政策企画課、観光コンベンション推進課〕
- ・歴史・文化的景観の保護〔都市計画課〕
- ・岡山市文学賞（坪田譲治文学賞）の実施〔文化振興課〕
- ・歴史・文化資料の受入、伝統・文化の記録映像制作〔岡山シティミュージアム〕

5 テーマ5【つくる】

新たな魅力を創造していく岡山市

【期待される効果】

- ・ 新しいブランドの確立や地域オリジナルの魅力を創ることで、都市イメージが向上し、外から訪れる人が増える
- ・ 文化的な刺激が豊かなことにより、新しいアイデアを生み、クリエイティブに考え行動する多彩な人材が集積し、街の活力を育む

【方向性】

市民協働による文化事業の実施や、平成 34 年度開館予定の新しい文化芸術施設の整備などを通じて、市民の参加や創る活動を支援する。

《施策と主な事業》

(1) 地域で文化芸術を創る

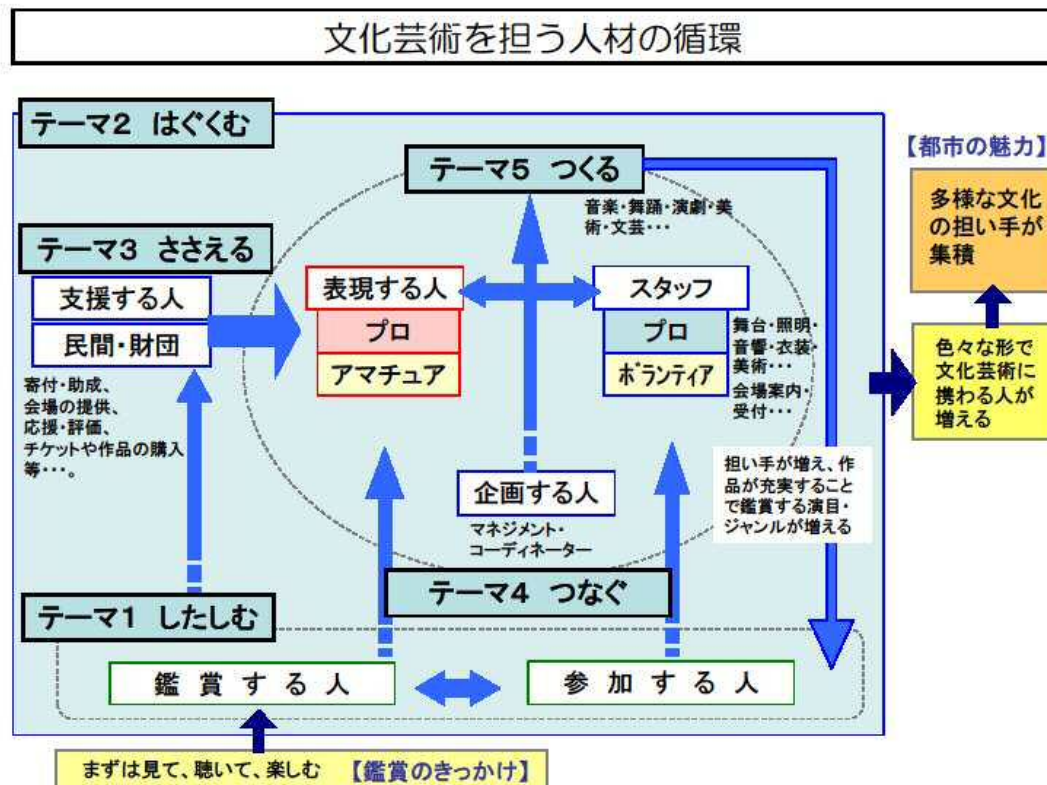
- 東京などの大都市に人が集中する傾向がある中で、地域独自の歴史・文化を題材に創作活動を行うことで、岡山ならではのオリジナル作品やイベントを創り、国内外への発信力を高めていくことを目指します。
- 文化芸術や新しい文化芸術施設整備に関連するシンポジウムやワークショップ等を通じて、複数の芸術文化団体が合同で行う事業や、異なる分野の人や団体が協力して制作する活動、地域との連携事業などを市民協働で推進していきます。
- 岡山フィルハーモニック管弦楽団が、市民に親しまれ、本市の都市ブランドの向上にも寄与する楽団となるように支援します。

(2) 岡山市の新しい魅力づくり

- 岡山の観光シンボルである岡山城とその周辺の魅力づくりとして、岡山城と岡山後樂園の連携を促進するとともに、国際的現代アート展など、歴史と新しさが混在する空間を提供する事業を実施し、岡山の新たな魅力を創っていきます。
- 「瀬戸内国際芸術祭」など、周辺の事業と協力・連携することで、海外への発信力を高めていきます。
- 平成 34 年度開館予定の新しい文化芸術施設では、作品を創るための機能として、創造支援エリアを設けて、発表にも使えるスタジオや練習室・工房等も計画しています。本施設が、にぎわいと創造の拠点となるような整備と事業展開を検討していきます。

主な事業

- ・文化芸術に関するシンポジウム等の開催〔文化振興課〕
- ・新しい文化芸術施設開館に向けてのワークショップ・シンポジウム・開館プレ事業などの開催〔文化振興課〕
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団の支援〔文化振興課、(公財)岡山シンフォニーホール〕
- ・岡山城・岡山後楽園の連携推進〔観光コンベンション推進課〕
- ・瀬戸内国際芸術祭など、周辺地域の事業との連携〔観光コンベンション推進課、文化振興課〕



V 推進体制・進行管理

文化芸術の振興とそれを通じた魅力あるまちづくりの主役は市民です。日々の生活で文化芸術を楽しみ、地域の伝統文化や文化財を知り、大切に守ること、創作活動をする、アーティストの卵を応援すること、個人でできることに加え、芸術文化団体や NPO、民間団体、企業、大学等がそれぞれ主体的に事業を実施していくことが重要です。(次ページ推進体制図参照)

市・県・国の各機関がそれぞれの強みを活かすとともに、行政機関と市民が協働し、文化芸術により人々の心の豊かさを育み、魅力あるまちづくりにつなげていく連携体制が必要となります。

1 本市の関係課

文化の振興により都市づくりや地域づくりに総合的に取り組むため、関係課を中心に連携を密にしながら取り組んでいきます。

【参考】《岡山市役所内の関係課》

文化振興課、政策企画課、市民協働企画総務課、国際課、ESD 推進課、岡山シティミュージアム、観光コンベンション推進課、高齢者福祉課、障害福祉課、都市計画課、庭園都市推進課、各区総務・地域振興課、(教育委員会事務局) 指導課、生涯学習課、公民館、図書館、文化財課、オリエント美術館

2 教育機関、各学校や大学等

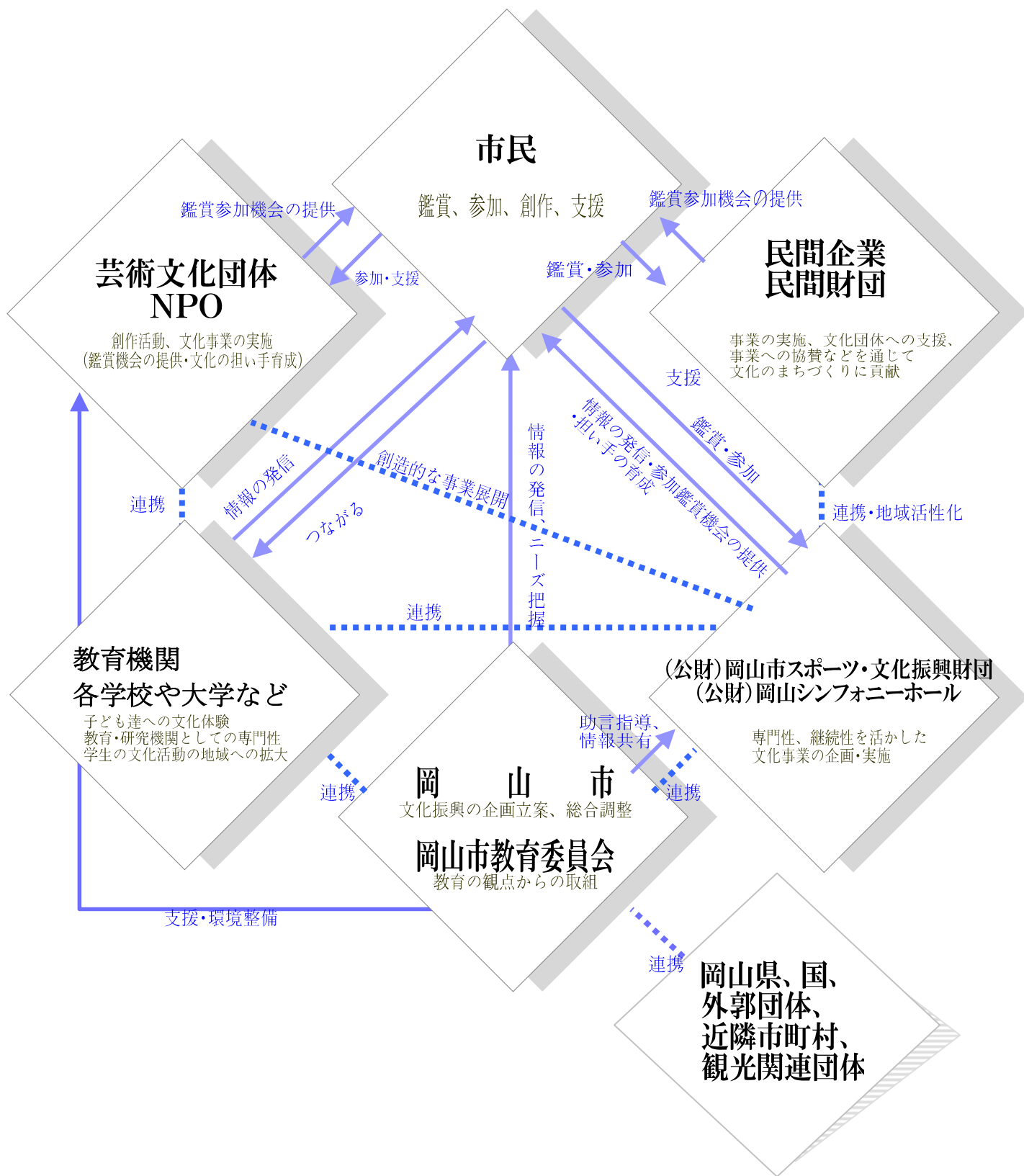
教育機関は子ども・青少年に最も近い立場から、子どもの心の成長や、将来の岡山市を担う人材育成という面から、発達段階に応じた文化芸術に触れ親しむことのできる取り組みを進めていくことが重要となります。

さらに、市内には多くの大学があり、教員との連携による文化事業の推進や、学生や若者の力が文化事業に発揮されることで、本市の文化振興が促進されることも期待できます。

3 外郭団体

外郭団体は、専門性や継続性、柔軟性等の強みを活かし、行政と連携して施策を推進する役割を担っています。本市の外郭団体である(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団と(公財)岡山シンフォニーホールは、文化施設の管理や文化事業、市民の文化活動支援や担い手育成事業などを実施しています。今後の更なる、文化振興の推進には、幅広い分野で、専門的な見地による調査研究や企画制作、事業実施が求められており、財団のあり方を含め検討していきます。

推進体制



テーマ別主な事業一覧

目的	テーマ	主な事業等	関連テーマ							
			したしむ	はぐくむ	ささえる	つなぐ	つくる			
岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市	テーマ1 【したしむ】 ◆市民の鑑賞機会の確保・促進 ◆市民参加の促進 P.12-13	おかやま国際音楽祭、岡山市芸術祭 岡山フィルハーモニック管弦楽団によるコンサート (財)岡山シンフォニーホールによる自主文化事業 美術館、公民館、図書館、でのコンサート 市民の童話賞 市民の文芸、市民美術展 西川パフォーマー事業 障害者の芸術・文化活動の充実 魅力的な展示・公演 気軽に楽しめる展示・公演 講座・クラブ・発表会、ワークショップなどの実施	文化振興課 (公財)岡山市スポーツ文化振興財団 (公財)岡山シンフォニーホール 各文化施設 文化振興課 (公財)岡山市スポーツ文化振興財団 庭園都市推進課 障害福祉課 岡山シティアムジウム、オリエント美術館、岡山シンフォニーホールや岡山市民会館等の自主事業 公民館、ふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウス岡山シティアムジウム、オリエント美術館、	◎	○					○
	テーマ2 【はぐくむ】 ◆担い手の育成 ◆子ども・青少年の支援 ◆文化芸術団体の連携・支援 P.14-15	市民学芸員、美術館ボランティア等 学校団体鑑賞 小中学校音楽鑑賞教室 こころの劇場(鑑賞事業) 小学校・中学校の音楽会 サマーフェスティバル・ウインターコンサート 中学校の美術展、作品・表現活動発表会 岡山市ジュニアオーケストラ テルドレン・ミート・アート・プログラム (学校アウトリーチ・文化体験事業) ダンス・インキュベーション 岡山フィルハーモニック管弦楽団による 学校公演、アウトリーチ 郷土芸能団体育成補助金 文化事業を通じた文化団体の交流促進	岡山シティアムジウム、オリエント美術館等 オリエント美術館、岡山シティアムジウム (公財)岡山シンフォニーホール 教育・指導課 教育・指導課 教育・指導課 地域子育て支援課 (公財)岡山市スポーツ文化振興財団 文化振興課 (公財)岡山市スポーツ文化振興財団 (公財)岡山シンフォニーホール 観光コンベンション推進課 文化振興課		◎		○	◎		
	テーマ3 【ささえる】 ◆活動環境の向上 ◆様々な支援 P.16-17	各文化施設の利用促進 新しい文化芸術施設の整備 区づくり推進事業補助金 (文化・歴史を活かしたまちづくりも対象) 岡山ESDプロジェクト推進による文化芸術活動の支援 文化情報(芸術文化団体の活動、イベント・施設情報・助成金等)の集約・提供(スポーツ・文化・生涯学習サイト「LIFEおかやま」)	文化振興課ほか 文化振興課 各区総務・地域振興課 市民協働企画総務課 ESD推進課 文化振興課・生涯学習課	○		◎				○
	テーマ4 【つなぐ】 ◆交流促進 ◆魅力向上 P.18-19	邦楽や地域資源を活用したコンサートなどの開催 花・緑ハーモニーフェスタin西川の開催 郷土民謡普及事業 「うらじゃ」や伝統芸能ステージ(おかやま桃太郎まつり)、おかやま城下町物語の開催 日本文化体験交流会、異文化体験交流会 国際友好交流都市等との文化交流 文化財の保存や整備、公開、活用 歴史案内看板の設置 歴史・文化的景観の保護 岡山市文学賞(坪田譲治文学賞)事業 歴史・文化資料の受入 伝統・文化の記録映像制作	文化振興課 (公財)岡山市スポーツ文化振興財団 庭園都市推進課 観光コンベンション推進課 観光コンベンション推進課 国際課 教育委員会・文化財課 政策企画課・観光コンベンション推進課 都市計画課 文化振興課 岡山シティアムジウム	○					◎	
	テーマ5 【つくる】 ◆地域で文化を創る ◆新しい魅力づくり P.20-21	文化芸術に関するシンポジウム等の開催 新しい文化芸術施設開館前事業やワークショップの開催 岡山フィルハーモニック管弦楽団の支援 岡山城・後楽園の連携推進 周辺地域の事業との連携	文化振興課ほか 文化振興課 文化振興課等 観光コンベンション推進課 観光コンベンション推進課、文化振興課		○				○	◎

効果指標

テーマ1【したしむ】		
効果指標	H27年度(実績)	H33年度(目標)
過去一年間に文化芸術イベントの鑑賞・参加をした市民の割合 (市民意識調査)	45.2%	60.0%

テーマ2【はくむ】		
効果指標	H27年度(実績)	H33年度(目標)
岡山シンフォニーホールや岡山シティミュージアム、オリエント美術館の小・中学校利用人数	3,065人	4,000人

テーマ3【ささえる】		
効果指標	H27年度(実績)	H33年度(目標)
岡山シンフォニーホールの大ホール稼働率	70.6%	向上
岡山市民会館の大ホール稼働率	82.1%	維持

テーマ4【つなぐ】		
効果指標	H27年度(実績)	H33年度(目標)
文化芸術で「市民同士の交流が進む」と考える市民の割合 (市民意識調査:文化芸術が身近になることにより期待する効果)	27%	増加
文化芸術で「観光客が増えるなど地域経済が活性化する」と考える市民の割合 (市民意識調査:文化芸術が身近になることにより期待する効果)	23%	増加

テーマ5【つくる】		
効果指標	H27年度(実績)	H33年度(目標)
新しい文化芸術施設開館に向けたワークショップ・シンポジウム・開館プレ事業などの開催延件数	1件	延20件